



この度、台風19号で被災された皆さまに
心よりお見舞い申し上げます



わくわくが止まらない わたしの街で活躍中 読み聞かせボランティア

「小さい頃に読んでもらって大好きになった本のこと覚えていますか・・・」
若者の活字離れが社会全体の問題となってきた現在。
今もなお、長野市内の至る所で地道に読み聞かせ活動に携わっている
みなさんの現状や思いについて語っていただきました。



読み聞かせ 「おはなしバスケット」 今日はどんなお話？

子どもプラザで定期的に開催されている「おはなしバスケット」の読み聞かせ会では、学校を終えた子どもたちがワクワクしながら待っています。部屋では座る場所がすでに満杯、開始の合図を待っている子どもたちであふれています。打合せをしている部屋の小窓には、まあるい目が入れ替わりのぞき込めます。



読み聞かせが始まると主人公になりきって、すっかり絵本の世界に入り込んで聞いています。途中でお母さんがお迎えにきて、後ろ向きになって、お話の続きを聞きながら玄関に向かう子どもたち。読み聞かせ後の反応の多さに、とてもやりがいを感じています。
読み聞かせで取り上げた本が、小学校の図書館で人気図書になったことが何度もありました。

生の声で届けたい

平成20年東北地区で開催された「お話し聞かせ講座」の修了生が、地域の人たちに生の声でお話を届けたいと始めました。現在は21名、交代で各施設へ出かけています。

東北地区の保育園、小学校、児童センター、子どもプラザや高齢者施設で定期的に活動し、地区の行事にも参加、地域に根差した活動の輪を広げています。

豊かな言葉はこころの栄養

毎月の定例学習会は和やかな中にも真剣そのもの。「生の声での読み聞かせによってその世界を思い描くので、想像力が育ち、聴く姿勢が自然と身につく、他者を思いやる気持ちが生まれ、さらに強く生きる力になっていきます」と代表の茂木好子さん。

子どもたちのために、心に残る本を選びをして、ともに絵本の世界を楽しんでいきたいとメンバーのみなさんは話されました。

高齢の方々は、読み聞かせのほかに、童謡や流行歌と一緒に歌い、今後も工夫して楽しい交流をしていきたいそうです。

楽しくて、深い、読み聞かせの世界、今こそ心の栄養が必要とされている時代はありません。



このかわらばんは「信毎ふれあいネット」のご好意で一部地域へボランティアで配布していただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金のご協力で発行しています。



朗読の会などごとく

小児病棟で読み聞かせ



『読み聞かせボランティアを募集している病院がある』長野市ボランティアセンターの情報で知ったのがきっかけでした。

是非やってみたくてメンバー全員の気持ちは直ぐに固まり、活動を開始しました。早10年余り、「朗読の会などごとく」の活動の中心になっていきます。

本選びは相手に合わせて

入院中の子どもたちは頑張って闘病生活を送っていたり、長期入院で外出にも制限があるなど、それぞれの事情があります。小児病棟では乳幼児から中学生まで、幅広い年齢の方へ読み聞かせを行っています。短い時間の中で喜んでもらえるように、本選びにはいつも工夫が必要です。

癒しの時間



楽しみに待っていてくれるのは入院中の子どもたちだけではなく、付き添いをしていらっしゃるご家族も同様です。「気分転換になる癒しの時間です」との声をいただいています。読み聞かせの時間で少しでも元気が出るように、子どもたちの一日も早い回復を祈って活動を続けています。

黒姫童話館のお話会

春から夏の期間（5月～9月）

黒姫童話館の読み聞かせボランティアとしてイベントに参加しています。9月開催の「黒姫高原クラフトまつり」のお話なし会では、大型絵本を持参して野外で行いました。

野外のお話なし会

当日は、黒姫童話館を訪れた多くの家族づれや、年齢を問わず絵本好きの方たちと、室内では味わえない格別な時間を過ごしました。



高原のさわやかな空気と、野鳥のさえずりが聞こえるお話なし会。室内とは異なり、読み聞かせの声と一緒に自然のBGMが聞こえてきます。耳を傾けた人々の思い出に残るおはなし会になったのではないのでしょうか。来年も多くの方に、読み聞かせの楽しさを知っていただく活動を、工夫しながら続けていきたいと思っています。



長野昔ばなしを伝承する会

学びは新鮮な発見

「長野昔ばなしを伝承する会」のメンバーは16名。12年前に長野市で開講された「長野昔ばなし大講学」を受講した、かけがえのない仲間と一緒に活動しています。

昔ばなしについてそれまでは、深く考えることなどありませんでしたが、学んでみると新鮮で新しい発見もあり、魅了されています。

楽しさを伝える

北信地方に伝わるお話を中心に、現代の子どもたちにも分かりやすく伝えるため「再話」する活動をしています。

（※「再話」とは：昔話や伝説などを子ども向けに分かりやすく書き直したもの）

また、メンバーそれぞれが保育園や小学校へ出かけた時、子どもだけではなく大人の方たちにも昔ばなしを楽しんでいただくために、おはなし会を開催しています。

生きる知恵の伝承

「昔ばなしとは、人間が成長する姿やいのちのあり方、そして人間と自然との関係を語っている」これは、昔ばなし研究所の小澤俊夫先生のお話です。昔ばなしには自然とのかかわり方、生きる知恵など大事なメッセージがたくさんこめられています。

今を生きる私たちにも学ぶことがたくさんあるように思います。

心に届く不思議な力

昔ばなしは口で語られてきたもので、耳で聞いて分かりやすいようにできています。だから生の声で聴くのが一番楽しいのです。人間の生の声はテレビなどと違い、聴く人の心に届く不思議な力を持っています。語り手が近くにいるので子どもたちも安心して聞くことができます。



「お話を聞くことは、心豊かな言葉、豊かな物語を蓄積させることだと思えます。大人になった時、その人の支えになってくれるのではないのでしょうか。これからも楽しく活動したいと思っています」と代表の五明ゆき子さん。若い方々にも、昔ばなし伝承の担い手になっていただけるような活動をしていきたいと語られる姿は、未来へつなげようと願う熱意が伝わってきました。



ほっぷ すてっぷ じゃんぷ

芹田地区 編

地域福祉ワーカー

大久保 有華

芹田地区社会福祉協議会では、地域の方々が気軽に出席することができる「Seritaカフェ」を年3回開催しています。知り合いづくりのきっかけとなる場所を作る事で、お互いが心穏やかに生活できて、一人ひとりの温かい気持ちの芽を地域で育てていきたいとの思いから、スタートしました。



この「Seritaカフェ」では、芹田地区内の福祉施設の空きスペースを開放して、どなたも楽しいひと時を過ごしてもらえような内容を毎回考えています。気軽にたくさんの方々にお越しいただけるように、会場ではお茶を飲みながら話をしたり、一緒に手遊びをしたり、保育園や小学校・中学校の子ども達の発表を見たりと、ゆっくり交流を楽しんでいただいています。また、希望者には福祉施設の見学

や活動内容を聞く時間も設けています。

子ども達との交流はとても好評で、握手をした時にはみなさんがとても素敵な笑顔になって、小学生の歌の発表を涙を流して聴いてくださる方もいます。初対面同士の方々が、短い時間の中でもすっかりお友達のように話されている場面を見て、改めて人と人との交流の大切さを実感しています。

「久しぶりに小さい子とお話ができて嬉しかった。」「子ども達の歌を聴いていると元気が出る。」「子どもは地域の宝。子ども達と住民のつなぎ役をもっと積極的に行ってほしい。子ども達と地域がつながることで、校外活動の参加も安心できると思う。」と貴重なご意見をいただく事もできました。



住民同士の結びつきが薄れてきている今、この「Seritaカフェ」が少しでも地域交流を盛んにするきっかけになればと思っています。みなさんお気軽にご参加ください。

ボランティアセンターに登録しているグループを紹介しています！

ボランティアの



風のウイング

カラフルな柄を合わせた布ぞうり

活動の初めは布ぞうり

活動のきっかけは古く、長野五輪があった1998年まで遡ります。当時、ボランティア連絡協議会の事務局長の呼びかけで、布ぞうりならできると代表の風間久代さんが手を挙げたことから始まりました。

材料は着物や布団屋さんの協会から使わなくなった布団を寄付していただき、鼻緒や台布を作る下準備に手間がかかるそうです。

風間久代さんが一連の作り方を丁寧に教えてくださいます。

取材当日も皆さんが作業をされているのを見せていただきました。



したが、色合いや生地、柄の組み合わせが美しく、思わず手に取って見たくなります。出来た作品は長野市内に4か所販売している所があり、ふれあい福祉センターでも扱っています。

売り上げた収益で、いつも作業

場を借りているふれあい福祉センターへの感謝を込めて、利用者の皆さんが使えようようにホワイトボードや秤などを寄付されています。東日本震災の後には岩手県大槌町浪板へ作り方講習で継続して出向き、今でも材料をこちらから送っているそうです。

編み方の技を若い人に

年に1回、皆さんで日帰り旅行に出かけたり、普段の活動とは関係なく、車いすマラソンのボランティアも。何でも楽しみながらさされているのが長い活動に繋がっていると感じます。そんな皆さんの悩みは新しいメンバーを増やすこと。せっかくなの技を若い皆さんに伝えていきたいと思っています。風間久代さんが教えて下さるので、未経験でも大丈夫。

毎月第1、第3月曜日（祝日の場合は翌日）の10時からふれあい福祉センター1階で活動しています。是非、明るく賑やかな雰囲気味わいに来てください。

取材・文／茶嶋宏明さん

ボランティア情報

募集

■あったかプロジェクトボランティア募集

台風19号で被災した方々に、手編みのマフラーや手袋などを編んで下さる方を募集しています。何をしたらいいかわからない方、自分の得意を活かしたい方、募集中！

活動内容 ご自分で編んだ手編みの防寒グッズをご提供下さい。

(帽子・マフラー・手袋・ひざ掛けなど)

問 長野市災害ボランティア委員会

TEL 080-5071-9025

メール saibora.nagano@gmail.com



インターネット放送局「ながのTV」の生放送番組
毎月第2火曜日19時ON AIR/

あったかプロジェクト

毛糸も募集中



並太以上で5年程度経過のものまで。

古いものは受け取れない場合があります。

受付期間 12月1日(日)～12月13日(金)

受付場所 長野市ボランティアセンター

問い合わせ 026-227-3707



長野ボランティアステーション

出演者大募集中

1月・3月に出演してみませんか



12月10日(火)は

「チェルノブイリの子どもたちへ
クリスマスカードを送る会」です。



Xmas特別出演 スパークリングジョイ
ゴスペルコーラスも聴けま～す



お問い合わせ/長野市ボランティアセンター



いつも傾聴でんわ

哀しい・つらい・嬉しいことがあった…
どんなことでもお話しください。

TEL 026-225-0404

月・土 14:00～18:00 水 14:00～21:00

お電話
待ってます



長野市ボランティアセンターへ

ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等

(10月21日～11月20日分)

宮下廣喜 松下信彦 徳竹孝幸 市村英樹 宮田起男

(株)デザインーク 長野南郵便局総務部 長野七瀬郵便局

長野市障害福祉課 匿名10名 (敬称略)

どなたでも
“ふらっと”
参加できます



長野市ボランティアセンターで開催する
ちょこっとボランティアの場です

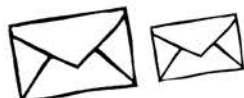
問：長野市ボランティアセンター TEL:026-227-3707

♪エコ封筒を作ろう

古いカレンダーを再利用して封筒を作ります。
年齢・性別を問わず、ご参加いただけます★

1月7日(火) 10:00～11:30

2月4日(火) 10:00～11:30



♪切手の小箱サロン

チーズやお菓子の空き箱に古切手を貼ってステキな小箱を作ります。のんびりゆっくり、おしゃべりしながら、楽しい時間を過ごしましょう。

1月10日(金) 13:30～16:00

2月14日(金) 13:30～16:00



ボランティア情報

お知らせ・イベント

■はじめてのオペレッタ ごんべえかかし

会員になると、ごんべえかかしを鑑賞することができます。小さなお子様でも楽しめるオペレッタです。

日時 12月8日(日)①11:00～ ②14:30～

場所 長野市芸術館アクトスペース

問 長野中部子ども劇場(斉藤)

TEL 026-224-4593



■GO OUT！イオンモール松本に行こう！

車イスでも大丈夫、一般の方も大歓迎！長野市からは行きづらい県下最大級のイオンモール松本へバスで行こう！

日時 12月7日(土)

場所 バスの乗降場所はご相談ください

参加費 1,000円

問 team GO OUT(堀内)

TEL 090-1038-4500



■初詣と歌い初め(カラオケ)

障がいの有無に関係なく、新年を祝って盛り上がりましょう。初詣のみの参加も可能です(会費不要)。災害復旧を祈って、希望に満ちた令和2年をスタートしましょう。

日時 1月12日(日)12:00六地藏前集合

場所 善光寺～まねきねこ(権堂)

対象 精神障がいに関心ある方

定員 20名

参加費 1,000円程度

申込締切 1月8日(水)

問 ホワイトナッツ(本田)

TEL 026-226-8740



■"歌って楽しく健康！"

今年は新しい年号になり、災害もあり、締めくくりは楽しく過ごそうと企画。健康は笑いから・・・お腹から声を出してみんなで楽しく歌って、情報交流会。多くの人の参加をお待ちしています。

日時 12月14日(土)13:30～

場所 安茂里公民館

定員 20人/参加費 300円

申込締切 12月14日(土)

問 090-2179-9741(高遠)

FAX 026-227-6919

メール sowing.net@gmail.com

■人形劇「やもじろうとはりきち」

幼児と低学年向けのかわいくて、楽しい、心あたたまるおはなし。くわえぱべつとステージの人形劇をいっしょに楽しみましょう！

日時 12月15日(日)10:30開演

場所 檀田地区センター

参加費 月会費1,500円 入会金500円

問 長野北部子ども劇場

TEL 026-244-9616

メール nhkodomo@cocoa.plala.or.jp



■クリスマスこども会

毎年大人気となっている冬のイベント。人形劇、ハンドベル演奏、工作などを行ないます。サンタさんが来るかは当日のお楽しみ。ご家族皆さんで参加してください。

日時 12月22日(日)14:00～15:00

場所 長野市立南部図書館 2階大会議室

対象 幼児～小学校低学年

定員 定員なし

参加費 無料

問 南部図書館 図書担当(竹田)

TEL 026-292-0143

FAX 026-299-0559



講座

■精神保健福祉ボランティア養成講座

精神保健福祉について勉強し、ボランティアしませんか。この講座では精神疾患と障がいの正しい理解及び関わり方などを学びます。

講義日時 12月6日(金)・10日(火)・20日(金)

ボランティア体験実習期間 12月11日(水)～12月19日(木)の期間中2日間

場所 社会福祉法人絆の会 本部3階多目的スペース

対象 精神保健福祉に関心がある方、ボランティアしたい思いのある方

定員 30名

参加費 無料(昼食代毎回500円)

申込締切 12月3日(火)/問 つむぎの家(北澤)

TEL 026-266-0099



新号は1月24日(木)発行予定。情報掲載希望は1月9日(水)までにお問合せください。〈TEL 026-227-3707〉

スノーバスターズ
なごの



あなたの熱い **想い** お待ちしていま～あ！

雪かきボランティア 大募集!

高齢者や障がい者のお家で、
スノーバスターズとして
活動してみませんか？
通勤・通学途中など、
都合のいい時間帯に活動可能です。

ボランティアセンター 大掃除

今年も、ボランティアセンターの「大掃除」を行います。

日頃利用しているみなさんと、共有スペースの棚や倉庫の掃除や整理を一緒にしませんか!? 終了後、ワイワイと交流会&お茶会になりま～す♪



12/18 (水)
9:30~12:00

長野市ボランティアセンター1階

※当日、ボランティアセンターにお越しください。

★ わからないことはコーディネーターに聞いてくださいね ★

◆◆◆ 問い合わせ・申し込み ◆◆◆

長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707 FAX 026-224-1513

ボランティアセンターへの相談

(10月1日～10月31日)

★ボランティアしたい…22件

★ボランティア求む…27件

「ボランティアかわらばん」音声でも楽しめます

視覚障がい者への朗読ボランティアグループ「やまびこ会」による音読版「ボランティアかわらばん」をインターネットに公開しています。ホームページ「ボランティアネットなごの」でお聞きいただけます。

<http://www.vnetnagano.or.jp/kawaraban/onyaku.htm>

